



# 北淡国際活断層シンポジウム 2020

2020年1月14日(火)~1月17日(金)

北淡震災記念公園 セミナーハウス (淡路市小倉177番地)

平成7年兵庫県南部地震(M7.3)の大震災から四半世紀を迎えるにあたり、活断層研究に関する国際シンポジウムを開催します。下記の基調講演のほか、国内外から50名以上の活断層研究者が出席し、60件以上の口頭発表・ポスター発表が行われます。活断層に関する海外・国外の研究者による講演を聴きにぜひ会場へお越しください。なお、発表は英語で行われ、通訳はありませんので、あらかじめご了承ください。

## 1. テーマ 活断層研究の新たな展開 - 阪神淡路大震災から25年 -

### 【基調講演】

#### 1) Steven G. Wesnowski 教授 (ネバダ大学・米国)

演題: Geological and Geophysical Insights to the Potential of Great Earthquakes along the Himalayan Front  
「地質学および地球物理学的な観点からみたヒマラヤ山脈前縁における巨大地震発生の可能性」

#### 2) Yefuda Ben-Zion 教授 (南カリフォルニア大学・米国)

演題: Evolving localization of seismicity in relation to large earthquakes and faults  
「大地震と活断層の関係における地震活動場の進展」

## 2. 日程

1月14日(火) 13:30 - 17:00

- ・オープニングセレモニー
- ・基調講演
- ・学術セッション1: "Recent large earthquakes on active faults" (活断層で発生した最近の大地震)

1月15日(水) 9:00 - 17:00

- ・学術セッション2: "Active faults under various tectonic conditions" (多様な地殻変動場における活断層)
- ・学術セッション3: "Recent progress in searching and evaluating active faults" (活断層調査とその評価の進展)
- ・ポスター発表

1月16日(木) 9:00 - 17:00

- ・学術セッション4: "Crustal deformation and physical processes on active faulting" (地殻変動と断層活動の物理プロセス)
- ・学術セッション5: "Probabilistic seismic hazard analysis and its outreach" (確率論的地震動評価とその普及)
- ・ポスター発表

1月17日(金) 9:00 - 12:00

- ・学術セッション6: "Preservation and social use of earthquake faults and ruins" (地震断層遺構の保存と活用)
- ・クロージングセレモニー

## 3. 参加方法

- ・事前登録は不要ですので、会場に直接お越しください。
- ・淡路市にお住まいの方は入場無料です(プログラムを配布します)。
- ・お問い合わせは(直通) 0799-64-2520 (淡路市社会教育課) へお願いいたします。

主催: 北淡国際活断層シンポジウム実行委員会

共催: 淡路市、淡路市教育委員会、東北大学災害科学国際研究所(IRIDeS)、兵庫県立人と自然の博物館、日本活断層学会、産業技術総合研究所地質調査総合センター

協賛: 株式会社ほくたん、関西地質調査業協会

後援: 兵庫県、兵庫県教育委員会、東京地学協会、日本地質学会、日本地理学会、日本地震学会、日本第四紀学会、日本応用地質学会